北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （整理番号）	当院における新生児外科疾患のフォローアップの実態調査（B26-083）
当院の研究責任者 （所属・職位）	医学部一般・小児・肝胆膵外科学　助教　田中　聡志
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	小児外科医は、主に新生児期から思春期前までの外科疾患の診療を担っています。新生児期に手術を必要とする疾患は、食道閉鎖や腸閉鎖、横隔膜ヘルニア、直腸肛門奇形、腹壁異常などの先天奇形が挙げられます。これらは根治術後も胃食道逆流や食道狭窄、胸郭変形などの晩期合併症が発生することがあり、また、排便機能障害の管理が必要となる症例も多いために小児外科医による長期的なフォローアップが必要ですが、適切な長期フォローアップが継続されていない症例が存在することが報告されています。一方で、小腸閉鎖や十二指腸閉鎖などで新生児期に手術を受け、一度はフォローアップを終了とした症例でも、学童期や思春期に腸閉塞などの晩期合併症のために小児外科医が対応することもあります。 成人に近づくにつれて成人診療科への移行を目指しますが、短腸症候群や先天奇形などの小児外科特有の病態のためにスムーズに進まず、成人となっても小児外科医が診療を行わなければならないケースも多く見られます。 今回、我々小児外科医が担ってきた新生児外科疾患の臨床経過を検討し、さらに小児外科医による長期フォローアップの実態を調査して、その問題点を明らかにすることで、より適切なフォローアップと成人診療科への移行の基礎資料を得ることを目指します。
調査データ 該当期間	患者さんの臨床情報、周術期記録、長期経過 2004 年 1 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2004 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日の間に当院で新生児外科疾患に対する手術を受けた患者さん
研究の方法 （使用する試料等）	2004 年 1 月 1 日から 2026 年 7 月 31 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日：研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

本研究の資金源 （利益相反）	本研究の遂行のための費用は、北里大学一般・小児・肝胆膵外科学医局研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： **所属・職位：一般・小児・肝胆膵外科学　助教** **担　当　者：田中　聡志（タナカ　サトシ）** **電　　話：042-778-8111**
備　考	